



八日市まちづくり協議会だより

第75号

令和7年6月発行

令和7年度 定期総会を開催



八日市地区まちづくり協議会では、去る5月15日に令和7年度定期総会を開催しました。総会の構成員数は40名、出席者は29名、委任状提出者は6名で、合計35名となり過半数を超えており総会は成立しました。

第1号議案 令和6年度事業報告

まちづくり協議会事業

【冒険遊び場づくりプロジェクト】

- ・子どもたちが外で思い切り遊ぶことのできる環境づくりを行った。

【箕作山麓里・山づくりプロジェクト】

- ・箕作山と清水川とで結ばれた地域の交流と活性化を目指した。

【延命夢クラブ】

- ・八日市のシンボルである「延命公園（山）」を、八日市地区の人だけでなく東近江市民の憩いの場となるよう活動した。

【いきいきあったかサロン】

- ・年々増加する高齢者の一人暮らし、閉じこもり、寝たきり、認知症を予防して健康寿命を長く保つ活動を展開した。

【花いっぱいプロジェクト（東本町・緑町）】

- ・春、秋に花いっぱい運動を実施して、花の香りいっぱいの心豊かな町づくりに取り組んだ。

【子育て支援プロジェクト（ぽっぷ八日市）】

- ・一人ひとりの子どもが輝く社会を目指し、地域で安心して子育てができるよう支援をする活動を展開した。

【八日市つながりプロジェクト】

- ・顔が見える八日市、声かけられる八日市を合言葉に、はちのひカフェを開催した。

【清水川湧遊プロジェクト】

- ・「ふるさとの川、清水川」を地域の川として、憩いの場として環境を守っていくことを目的に活動した。

【歴史文化プロジェクト】

- ・八日市地区の歴史文化に関する資産を発掘し、住民の皆さんに知っていただくことで、地域への愛着を深める活動をした。

第2号議案 令和6年度決算報告

まちづくり事業会計と指定管理事業会計について承認されました。

【まち鉄プロジェクト】

- ・近江鉄道を利用して、八日市の街に歩きに行きたくなるような街づくりを目指した。

【防災プロジェクト】

- ・地震、風・水害、火災などによる大規模災害に強い地域づくりを目指した。

指定管理（コミセン）事業

2回目を迎えた「八日市コミセンフェスティバル」は、暑さを避けて6月に開催しました。梅雨時期ではありましたが、幸いにも好天に恵まれ、予定していたイベントを行うことが出来ました。事業が定着することで、来館される方が増えることを願っています。

市民大運動会に代わるスポーツイベントとして企画した「体にいいことフェスティバル」は、コミセンの限られたスペースでの開催でした。ホールでのバランスボールやニュースポーツのボッチャなどの教室、屋外でのモルックなどのニュースポーツ、A棟ではびわこリハビリテーション専門職大学のスタッフによる「飲み込みとお口の健康チェック」を行いました。このイベントの時だけでなく、日頃から健康について考えるきっかけにできればと思います。

両事業とも過年度を参考にしながら、新たな館長のもと更なる集客のため工夫を凝らし、イベントとして定着するように検討していきたいと考えています。

第3号議案 令和7年度役員

八日市地区まちづくり協議会規約第11条第1項で、役員の任期は2年と規定されており、令和6年度に改選をしておりますので令和7年度には改選は無く、以下の通りです。

◎理事（第7条）

（敬称略）

◎執行役員

（敬称略）

第7条第1項第1号 自治会連合会の各総自治会長		第7条第1項第3号 各プロジェクトより	
東本町総自治会長	大西 啓之	冒険遊び場づくりプロジェクト	村山 弘晃
八日市町総自治会長	平井 康博	延命夢クラブ	田中 健士
金屋総自治会長	立花 伸也	箕作山麓里・山づくりプロジェクト	高嶋 芳紀
浜野総自治会長	堤 吉男	花いっぱいプロジェクト	小嶋 松治
八日市清水総自治会長	小菅 利裕	いきいきあったかサロン	熊木 恵美子
八日市緑町総自治会長	清水 道治	子育て支援プロジェクト	森 和子
第7条第1項第2号 コミュニティ部会より		八日市つながりプロジェクト	
ちやいんどネット八日市会長	森 正	清水川湧遊プロジェクト	井田 直子
人権のまちづくり協議会会長	野瀬 信弘	防災プロジェクト	矢島 之貴
社会福祉協議会会長	加川 泰正	歴史文化プロジェクト	小嶋 松治
民生委員・児童委員協議会会長	小杉 光雄	まち鉄プロジェクト	白木 一男
スポーツ協会会長	大洞 共一		山下 勝司
第7条第1項第4号 広報委員より		第7条第1項第5号 会員より	
荒川 貴美代		浦根 悦夫 大橋 和史 河村 尚昭	

まちづくり協議会会長	浦根 悦夫（第7条第1項第5号）
〃 副会長	清水 道治（自治会連合会会長）
〃 副会長	大橋 和史（第7条第1項第5号）
〃 常任理事	森 正（ちやいんどネット八日市会長）
〃 常任理事	加川 泰正（社会福祉協議会会長）
〃 常任理事	小杉 光雄（民生委員児童委員協議会会長）
〃 常任理事	河村 尚昭（第7条第1項第5号）
〃 会計	藤田 恵子（第8条第3項 会長の指名）
〃 事務局長	中島 俊治（〃）
コミュニティセンター館長	西村 公一（第8条第1項第6号）

◎会計監事（第9条）

自治会連合会より選出

平井 康博 立花 伸也

第4号議案 令和7年度事業計画

まち協のプロジェクト、コミセン事業とも、概ね継続実施していきます。

第5号議案 令和7年度収支予算

原案通り可決されました。以下の通りとなります。

令和7年度八日市地区まちづくり協議会 収支予算書

(まちづくり事業会計) 令和7年4月1日～令和8年3月31日
収入の部 (単位 円)

科 目	予 算	摘 要
交付金	1,461,000	東近江市まちづくり総合交付金
繰入金	0	
繰越金	18,480	前年度繰越金
雑収入	520	預金利息等
合 計	1,480,000	

支出の部

科 目	予 算	摘 要
事務局費	35,000	消耗品等
補助金	400,000	八日市地区自治会連合会補助金
会議費	10,000	会議資料、湯茶代等
広報費	150,000	まち協だより印刷代
事業費	855,000	冒険遊び場づくり PJ 105,000
		延命夢クラブ 110,000
		子育て支援 PJ 100,000
		八日市つながり PJ 130,000
		いきいきあったかサロン 60,000
		花いっぱい PJ 50,000
		箕作山麗里・山づくり PJ 20,000
		清水川湧遊 PJ 20,000
		防災 PJ 50,000
		歴史文化 PJ 30,000
		まち鉄 PJ 50,000
		イルミネーション 10,000
		まちづくり事業 100,000
		新規プロジェクト 50,000
合 計	1,480,000	

積立金の状況

名 称	令和7年度 期首額	一般会計 繰出額	令和7年度 期末予定額	湖東信用金庫 本店営業部 定期預金
八日市地区 まちづくり基金	3,760,000	0	3,760,000	

令和7年度 八日市コミュニティセンター収支予算書

(指定管理会計) 令和7年4月1日～令和8年3月31日
収入の部 (単位 円)

科 目	予 算	摘 要
指定管理料	18,251,000	コミュニティセンター指定管理料
指定事業収入	800,000	えんめい短大、短期講座受講料等
雑収入	300,056	一般コピー代、利息等
繰越金	1,936,944	前年度繰越金
合 計	21,288,000	

支出の部

科 目	予 算	摘 要
人件費	給料、手当	9,500,000 常勤職員3名、非常勤職員1名、給料、時間外勤務手当等
	法定福利費	1,600,000 社会保険料、労働保険料
	福利厚生費	240,000 中退共掛金、勤労者互助会負担金、健康診断料
	小 計	11,340,000
運営維持管理費	消耗品費	800,000 事務用品、コピー代等
	燃料費	38,000 公用車ガソリン代
	水道光熱費	2,600,000 電気、水道、ガス代
	修繕費	300,000 施設修繕費
	通信費	170,000 電話、NHK受信料等
	損害保険料	250,000 公民館総合保険、公用車保険料
	委託費	700,000 警備保障、消防、電気設備点検等
	公用車維持費	50,000 公用車修繕
	備品購入費	300,000 備品購入
	租税公課	1,100,000 消費税、法人税、法人市民税等
	小 計	6,308,000
事業費	講師謝金	1,000,000 えんめい短大、短期講座等講師謝礼
	事務消耗品	700,000 学級講座材料費、消耗品、広報用紙等
	使用料・賃借料	100,000 通行料等
	役務費	20,000 郵送代
	旅費交通費	20,000 出張旅費
	小 計	1,840,000
予備費		1,800,000
合 計		21,288,000

広報委員さんが交代されました

「まち協だより」の広報委員さんのうち、山下勝司さんと石黒妙子さんが退任されました。
新たに、東本町 山本 満さんと八日市清水 古賀綾子さんに広報委員としてお世話になります。
よろしくお願いします。

◎広報委員

(敬称略)

新任の広報委員からのコメント

総自治会名	氏 名
東本町	山本 満
八日市町	川村 信蔵 中村 敦美
金 屋	小谷 昌行 荒川 貴美代
浜 野	浦根 悦夫 角江 幸代
八日市清水	高嶋 芳紀 古賀 綾子
八日市緑町	松村 栄士



生まれも育ちもずっと八日市ですが、まだまだ知らない八日市が沢山あるのでは、と思っています。皆様と共に八日市の魅力を発見し、発信していければと思っています。
よろしくお願いします。

広報委員 古賀綾子さん



就職で八日市に移り住んで40数年。第二の故郷でもある八日市を紹介できたらと思います。
よろしくお願いします。

広報委員 山本 満さん

お知らせ

八日市キッズ夏休み学習会



参加費 無料

ちやいどネット八日市

まちのおじさん・おばさんや高校生のお兄さん・お姉さんに見てもらいながら、みんなで宿題をしませんか？ゲーム遊びや絵本の読み語り、ジャズダンス、音楽クイズなども用意して待ってます。

対象 小学生

日時 7月22日(火)・23日(水)・8月4日(月)・5日(火) 9:00～11:00(受付 8:45～9:00)

場所 八日市コミュニティセンターホール

持ち物 上靴・筆記具・宿題・教科書等・水筒・タオル

申し込み コミセン窓口で、備え付けの用紙に必要事項をお書きの上ご提出いただくか、コミセンまで次の①～⑧についてお知らせください。

(〒527-0029 東近江市八日市町9番20号, FAX 0748-23-4120, Mail 8comi920@e-omi.ne.jp)

①件名(「夏休み学習会申し込み」とお書きください) ②学校名 ③学年 ④子ども氏名(フリガナ)

⑤保護者氏名 ⑥住所 ⑦連絡先(電話番号) ⑧配慮事項(あれば)

締切 7月11日(金)(定員30名, 先着順)

※安全確保のため、保護者の方で送迎をお願いします。



聖徳祭り

みんなで祭りを楽しもう★

八日市まち協では

江州音頭の踊り手を募集しています!!

当日参加も自由!

飛び入り参加也大歓迎!

とき 7月27日(土) 18:45～セレモニー

ばしょ 駅前広場 19:30～江州音頭総踊り

20:30～観光花火大会



18:30に八日市コミュニティセンターへ集合してください。集合時刻に間に合わなかった方は、直接「まち協」のプラカードにお集まりください。

参加者には駅前近代化協働組合が出版される夜のバザー券進呈
服装は自由です

明治5年11月、新政府は「天保暦」と呼ばれた日本独自の「太陰太陽暦」から、世界共通の「太陽暦」である「グレゴリオ暦」への改暦を公布し、翌年から使用が開始された。改暦は欧米列強と共通の暦を持つ利点と引き換えに、日本人独自の「閏(うるう)、四季」の概念は大きな影響を受けた。

・旧暦の閏とは閏月を云い、旧暦では月の満ち欠けを基本にした。月が新月になる日を月の始まりと考え、各月の朔日(ついたち)、翌日を2日と数え、そして次の新月が来ると、それを次月の朔日とした。新月から次の新月までの間隔は29.5日だから12ヶ月間では $29.5 \times 12 = 354$ 日で、新暦より11日も短い。(実際の四季の移ろいより旧暦が先行する)放置すればズレは膨らみ続ける。ズレが一月分近くなると、閏月を入れてズレを修正した。

・新暦の閏とは閏年を云い、新暦では地球の公転時間を1年とし、1年を365日とした。実数との端数

あれやこれや其の三十一改暦(閏四季)の巻

調整($365 + 0.2422$)の為、4年に一度「閏年」(年号が4で割り切れる年)とし、1年を366日とした。更に精度向上を期し、400年毎に3回ずつ閏年を平年とする。(年号が100で割り切れ、400で割り切れない年)

・四季の移ろいについては、旧暦でも新暦と同様に太陽の動きが密接な関係を持つことは熟知されていた。具体的には、1年を四季に分け、各季節を更に六等分したものを「二十四節季」と呼び、各節季に季節に相應しい節季名を充てた。「春夏秋冬」の各々の中央に「春分」、「夏至」、「秋分」、「冬至」を置いて、昼と夜の長さの差が最大、最小となる特異点を置いていることは重要であろう。二十四節季は、春の到来を意味する「立春」から始まり、冬の寒さを表す「大寒」の終焉(寒の明け)で立春の前日の節分で1年が終わる。

森野 吉雄

まちつなぎ八日市とは

高齢者が住み慣れた地域で生きがいを持った暮らしを継続するために、介護保険等では提供できない生活支援サービスや主体的な高齢者の活動を提供するのが「まちつなぎ八日市」です。八日市地区まちづくり協議会が、市からの委託を受けて実施しています。

まちつなぎ八日市では、主な事業として、あなたの応縁隊、いろいろエクササイズ、脳活教室を行っています。

いろいろエクササイズ



いろいろエクササイズは、最近大流行のモルックやウォーキングポールを使った正しい歩き方、健康づくりや体力の維持増進を目的に行います。月1回ですが継続的にいき、家でも体を動かすことが大切です。

いろいろエクササイズは、そのきっかけづくりです。是非一度ご参加ください。

日程 毎月第2水曜日（原則）
時間 10:00～11:30
会場 八日市コミュニティセンター ホール
定員 30名程度
持物 上履き、飲み物、タオル等

脳活教室



漢字や数字の問題解きのペーパー演習や木製パズルを使って脳を活性化します。また、時には工作も。そう、手先を使うのも脳に刺激を与えることになります。

コロナ禍がおわっても家に閉じこもりがちなあなた。月1回の教室ですが、脳に刺激を与え認知症を予防しましょう。

日程 毎月第1水曜日
時間 10:00～11:30
会場 八日市コミュニティセンター ホール
定員 30名程度
持物 筆記用具、飲み物等



おうえんたい

あなたの応縁隊ようかいち

八日市地区生活支援サポーター



例えば、
こんなことで困っていませんか…？

お部屋の整理整頓

話し相手がほしい

お買い物の手伝い

スマホがわからない



困っていることにお互いに何かできないだろうか、という思いで活動を始めた住民の助け合いグループです。

まずはお気軽に
お電話ください

専用電話

080-4564-3416

(受付時間 9:00～18:00)

高嶋 芳紀



数年前「好(後)期高齢者」突入記念と称して、北海道のある小さな市で、小学校の同窓会が行われました。60年以上の時を経て、顔つきや体形は変わっていても原っぱで遊んだ、誰それ君と川で遊んだというような共通ワードが出ると、次々に話が広がっていき楽しい時間でした。

そのホテルの会食に赤飯が出ました。食紅でほんのりピンク色に染まり、甘納豆が入っているものです。関西地方の赤飯とは見た目、味とも違いますが、「あつ、これが好きだった」と叫びそうになりました。

翌日、コンビニでおむすびを買おうと棚を見たら、件の赤飯おむすびがあり、ラベルに北海道限定商品との表示がありました。

なんでも均一化に向かう時代の流れに抗い故郷の匂いを残すことは大切だなと思いました。

片言隻句
へんげんせつく

編集
発行

八日市地区まちづくり協議会 八日市コミュニティセンター内
IP電話 050-8034-1141 電話・FAX 23-4120
E-mail 8comi920@e-omi.ne.jp

